

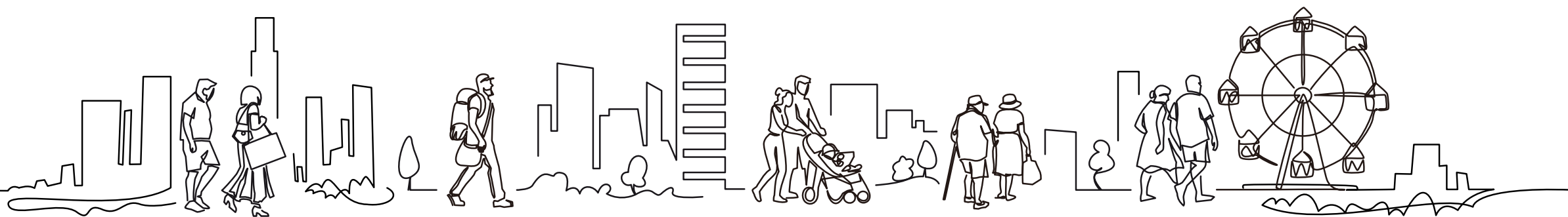
zetton inc.

2023年1月期第2四半期決算説明資料

株式会社ゼットン (3057)

当資料は株式会社ゼットンが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複写及び無断転写はご遠慮下さい。
当資料は当社が当社の現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。
また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了承下さい。

企業理念





店づくりは、人づくり。 店づくりは、街づくり。

お店に人が集い、それが波紋のように広がり
やがて街をも変えるエネルギーとなる。
そんな街づくりが、私たちの使命です。



会社概要



- 会社名 株式会社ゼットン
- 代表者 代表取締役社長 鈴木 伸典
- 設立 1995年10月26日
- 上場市場 名古屋証券取引所 ネクスト市場（証券コード：3057）
- 本店所在地 愛知県名古屋市中区栄3丁目12番23号
- 本社所在地 東京都渋谷区神南1丁目20番5号VORT渋谷briller9階
- 従業員数 連結422名（2022年2月末現在）※パート除く
- 資本金 90,000千円（2022年8月末現在）
- 事業内容 飲食店等の経営、開発及びコンサルティング
- 店舗数 直営：69店舗 FC：4店舗（2022年8月末現在）

事業内容



アロハテーブル事業

"Aloha Table"ブランドを中心に派生ブランドを含めたハワイアンレストランを運営。



ダイニング事業

新しい業態開発やリブランディングに挑戦し、多様なブランドを展開。



アウトドア事業

都市公園や商業施設の屋上などで、飲食の場に特化することなく、街のエリアを総合的に開発。



ブライダル事業

伝統的な挙式・披露宴会場で、ウェディングプラン及びラグジュアリーな空間と食を提供。



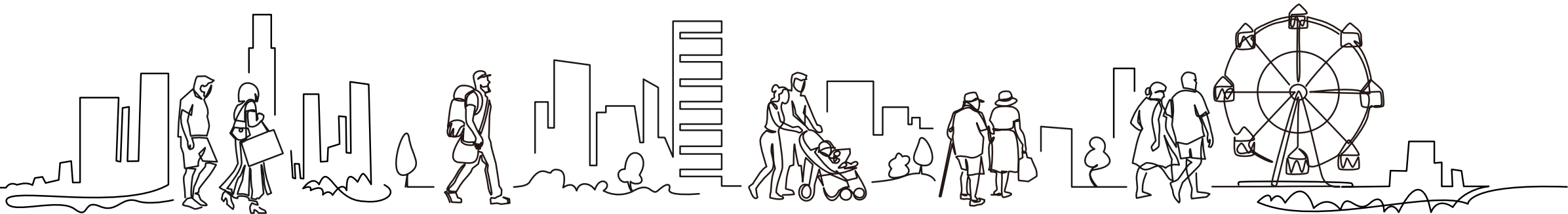
インターナショナル事業

ハワイ・オアフ島でハワイ独自発信のブランドにこだわった、レストラン&バー事業。

2023年1月期第2四半期

決算概要

※当期より決算期を2月28日から1月31日に変更しております。





売上高

4,687百万円

営業利益

499百万円

四半期純利益

590百万円

コロナ前に迫る回復、プロジェクトの拡張を実行

(前年同期比137.5%増、2020年2月期比17.8%減)

- 夏の第7波の影響を受ける中、アウトドア事業のフル稼働の他、各事業のブラッシュアップを図り、国内合計77.4% (2020年2月期比) まで回復
- インターナショナル事業：113.4% (2020年2月期比) と好調に推移、更なる事業規模拡大へ

過去最高益を達成

- 米国RRF (レストラン活性化基金) の会計への反映、戦略的なコストコントロールにより利益の最大化を実現

※ 前期：営業損失 790百万円

国内休業協力金、減資 (90百万円) による税務の効果にて 最終利益を押し上げる

※ RRF：米国中小企業庁により導入されたレストラン活性化基金 (「Restaurant Revitalization Fund」)

連結損益計算書



(単位：百万円)

	(a)		(b)	(b) - (a)	TOPIC
	2020年2月期2Q 実績	2022年2月期2Q 実績	2023年1月期2Q 実績	増減	
売上高	5,703	1,973	4,687	+2,714	インターナショナル事業、 アウトドア事業は完全に回復
売上原価	1,482	547	1,046		
売上総利益	4,221	1,425	3,640		
販売費及び一般管理費	3,728	2,216	3,140		
営業利益	492	△ 790	499	+1,289	海外 RRF助成金 利益の最大化に向けコ ストの見直しを図る
営業外収益	8	1,061	76		
営業外費用	11	23	4		
経常利益	489	247	571	+324	
特別利益	0	-	-		
特別損失	1	-	-		
税引前利益	489	247	571		
四半期純利益	329	136	590	+454	

連結業績推移（売上高・営業利益）



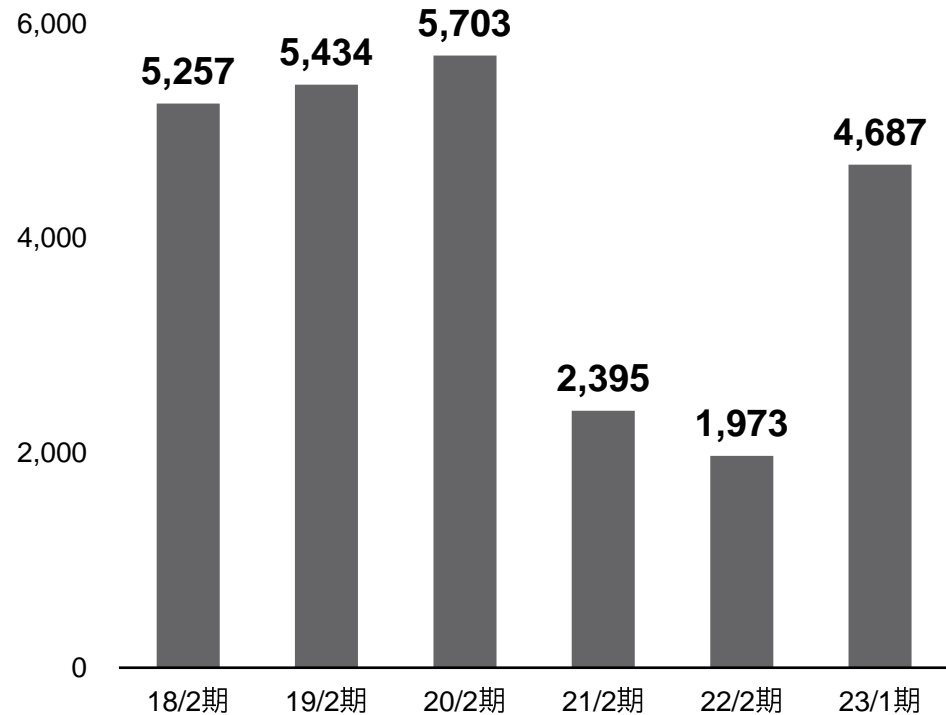
★売上：20/2期（コロナ前）に迫る回復 利益：過去最高

※

売上高

（第2四半期）

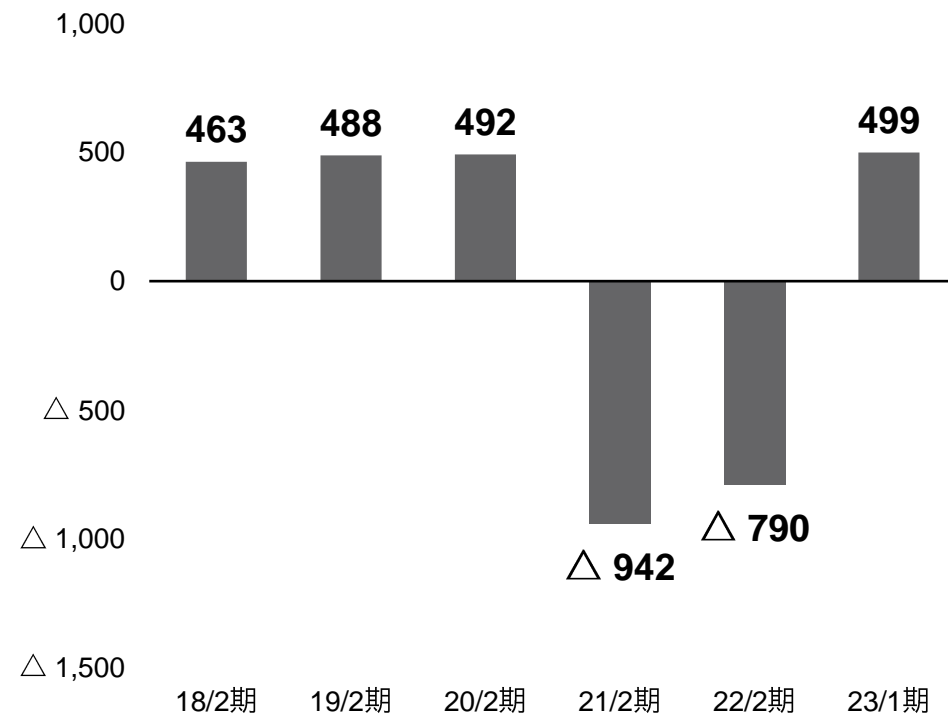
（百万円）



営業利益

（第2四半期）

（百万円）



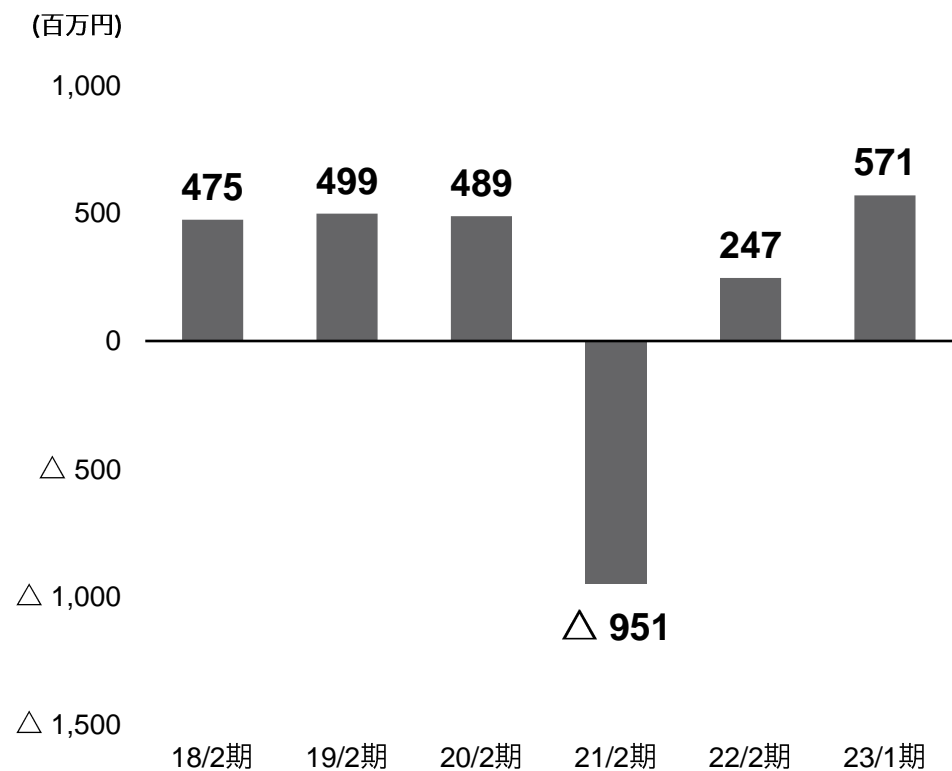
連結業績推移（経常利益・当期純利益）



★国内の休業協力金、減資による税務の効果が利益の押上げへ

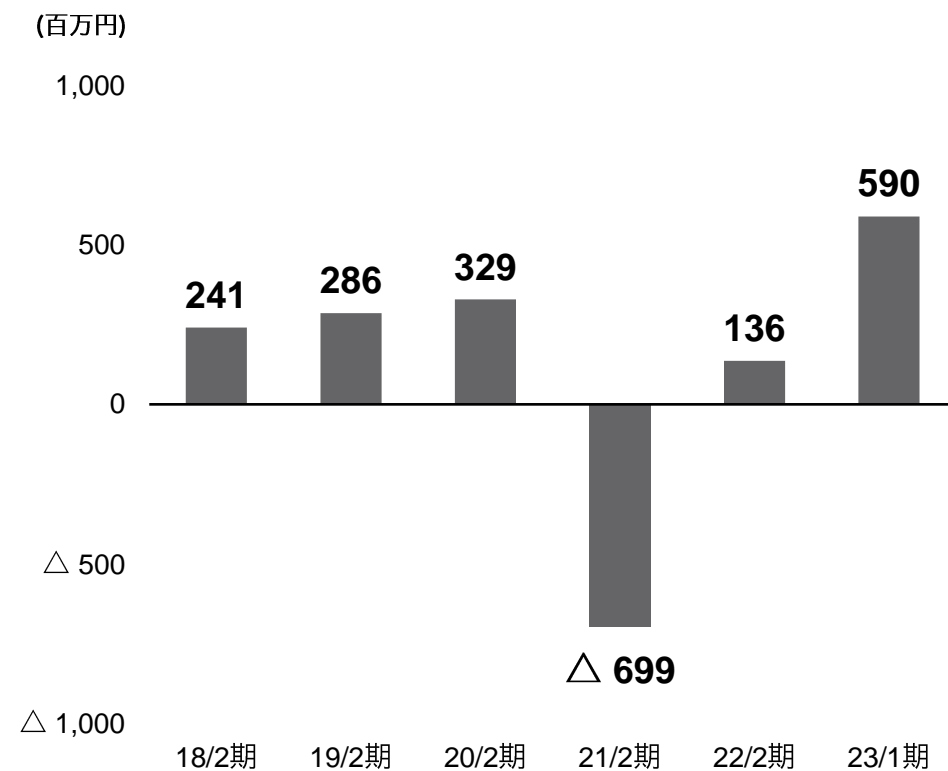
経常利益

(第2四半期)



当期純利益

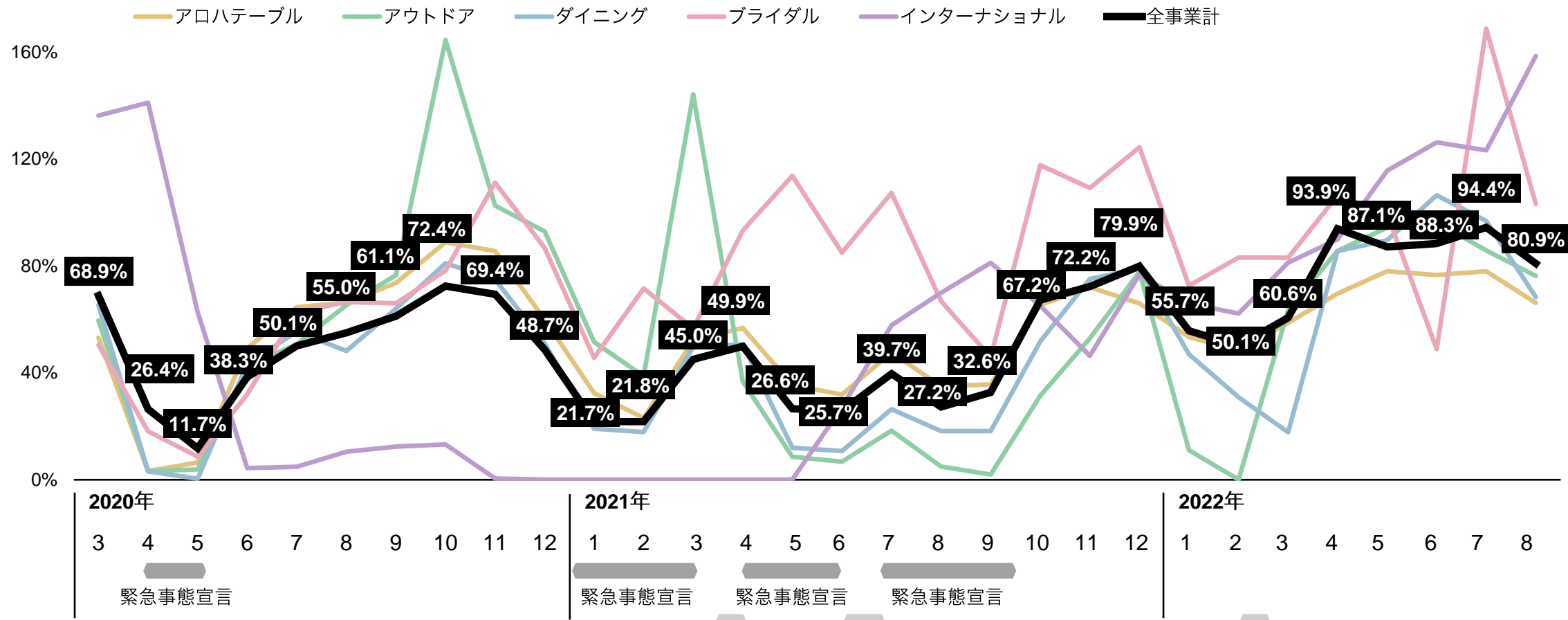
(第2四半期)



売上業績推移（事業別比較 ※2020年2月期比較）



★国際事業が牽引、他事業も右肩上がりで見直し中



※ インターナショナル事業（ZETTON,INC.運営）は、12月決算の為、各月2か月前の比率
 2020年 緊急事態宣言
 2021年 緊急事態宣言 緊急事態宣言 緊急事態宣言
 2022年 まん防 まん防 まん防

事業別売上高・営業利益の状況



(単位：百万円)

	(a)	(b)	(b) - (a)	(c)	(c) - (b)
	2020年2月期2Q 実績	2022年2月期2Q 実績	増減額	2023年1月期2Q 実績	増減額
連結売上高	5,703	1,973	△ 3,730	4,687	+2,714
国内合計	4,951	1,771	△ 3,180	3,834	+2,063
■アロハテーブル	1,702	728	△ 974	1,100	+372
■ダイニング	1,524	409	△ 1,115	1,146	+737
■アウトドア	1,114	125	△ 989	1,039	+914
■ブライダル	621	519	△ 102	557	+38
■その他	△ 12	△ 11	+1	△ 9	+2
海外（インターナショナル）	752	202	△ 550	852	+650
連結営業利益	492	△ 790	△ 1,282	499	+1,289
国内合計	458	△ 678	△ 1,136	△ 70	+608
■アロハテーブル	244	△ 97	△ 341	36	+133
■ダイニング	200	△ 290	△ 490	11	+301
■アウトドア	266	△ 111	△ 377	276	+387
■ブライダル	42	△ 27	△ 69	△ 11	+16
海外（インターナショナル）	34	△ 111	△ 145	569	+680
本部	△ 296	△ 151	+ 145	△ 382	△ 231

事業別新店・退店



	2021年2月期	2022年2月期			2023年1月期予定		
	店舗数	出店	退店	店舗数	出店	退店	店舗数
国内直営・海外直営・FC合計	75店			73店			78店
国内合計	69店		2店	67店	2店		69店
■ アロハテーブル	27店		1店	26店			26店
■ ダイニング	26店		1店	25店	1店		26店
■ アウトドア	12店			12店	1店		13店
■ ブライダル	4店			4店			4店
海外（インターナショナル）	6店			6店	3店		9店

TOPIC

- 出店店舗（2023年1月期予定）国内2店舗 ※出店済（2022年10月末現在）、
海外3店舗 ※2店舗出店済（2022年10月末現在）

※ 上記の店舗数には、FC店4店舗が含まれております。

連結貸借対照表



(単位：百万円)	(a)		(b)		(b) - (a)	TOPIC
	2022年2月期 実績	構成比	2023年1月期2Q 実績	構成比	増減 増減額	
流動資産	2,827	54.2%	2,898	39.7%	+71	
固定資産	2,393	45.8%	4,410	60.3%	+2,017	
有形固定資産	1,424	27.3%	3,301	45.2%	+1,877	海外リース会計適用、徳川園リニューアル
無形固定資産	34	0.7%	44	0.6%	+10	
投資その他の資産	934	17.9%	1,063	14.5%	+129	
資産合計	5,220	100.0%	7,308	100.0%	+2,088	
流動負債	2,015	38.6%	2,042	28.0%	+27	
固定負債	1,163	22.3%	2,446	33.4%	+1,283	海外リース会計適用
負債合計	3,179	60.9%	4,489	61.4%	+1,310	
株主資本	2,058	39.4%	2,649	36.2%	+591	
資本金	1,207	23.1%	90	1.2%	△ 1,117	減資
資本剰余金	827	15.8%	1,506	20.6%	+679	減資
利益剰余金	23	0.4%	1,053	14.4%	+1,030	減資、利益積み上げ
自己株式	0	0.0%	0	0.0%	0	
その他包括利益	△ 17	△ 0.3%	169	2.4%	+186	ZETTON,INC.社 為替影響
純資産合計	2,041	39.1%	2,818	38.6%	+777	
負債・純資産合計	5,220	100.0%	7,308	100.0%	+2,088	

連結キャッシュ・フロー計算書



(単位：百万円)

	2022年2月期2Q	2023年1月期2Q	増減額	TOPIC
営業活動によるCF	331	576	+245	
税金等調整前四半期純利益	247	571	+324	
減価償却費	129	119	△10	
助成金収入	△ 1,051	△ 74	+977	
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 38	△ 315	△277	
助成金の受取額	1,121	297	△824	前期：助成金 (協力金・雇調・RRF・PPP)
その他	△77	△ 22	+55	
投資活動によるCF	△ 43	△ 569	△ 526	
有形固定資産の取得による支出	△ 19	△ 523	△504	徳川園リニューアル、かさい海浜公園
その他	△ 24	△ 46	△22	
財務活動によるCF	373	△ 245	△ 618	
短期借入金の純増減額	40	△ 35	△75	
長期借入れによる収入	507	200	△307	
長期借入金の返済による支出	△ 174	△ 410	△236	
その他	△ 1	-	+1	
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	171	+147	為替影響
金及び現金同等物の増減額	685	△ 67	△ 752	
現金及び現金同等物の期首残高	524	2,313	+1,789	
現金及び現金同等物の期末残高	1,210	2,246	+1,036	

2023年1月期 通期計画



(単位：百万円)

	2021年2月期		2022年2月期		2023年1月期	
	通期実績	増減比	通期実績	増減比	通期計画	増減比
売上高	4,716	△ 54.1%	4,619	△ 2.1%	9,000	-
営業利益	△ 1,692	-	△ 1,179	-	580	-
経常利益	△ 1,577	-	263	-	630	-
当期利益	△ 1,251	-	582	-	330	-

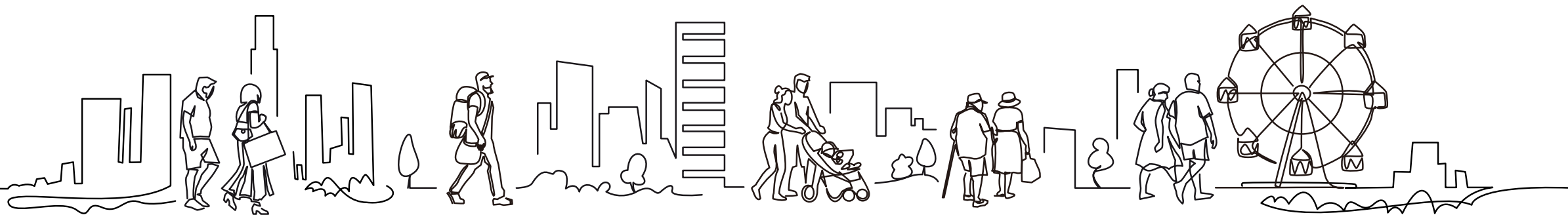
※ 親会社株主に帰属する当期純利益

通期計画について

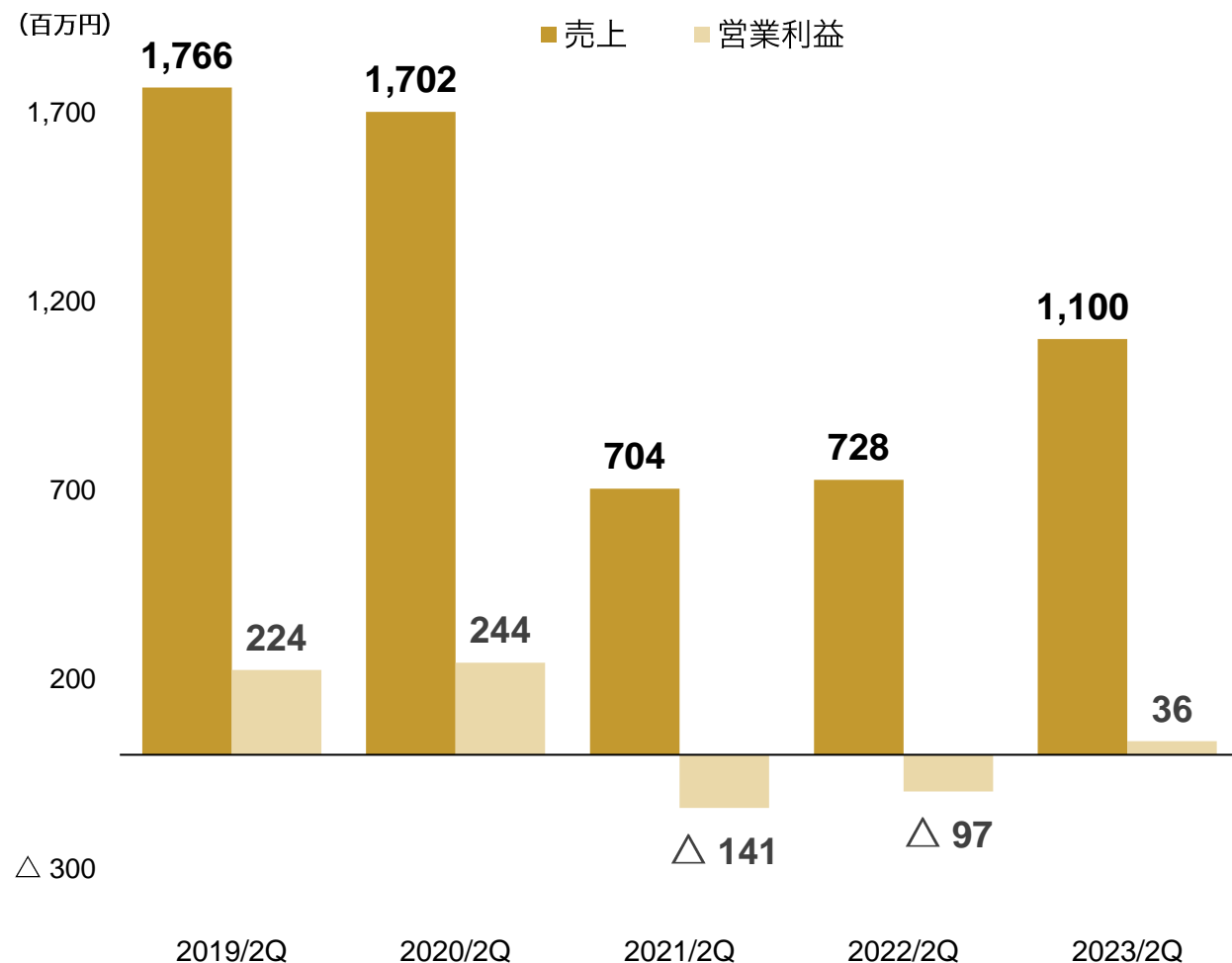
決算期変更の経過期間となる2023年1月期は、11ヶ月決算であります。

通期計画については、直近業績の動向及び今後の見通し、減資による税務負担の軽減効果等を総合的に勘案しております。

TOPIC



アロハテーブル事業

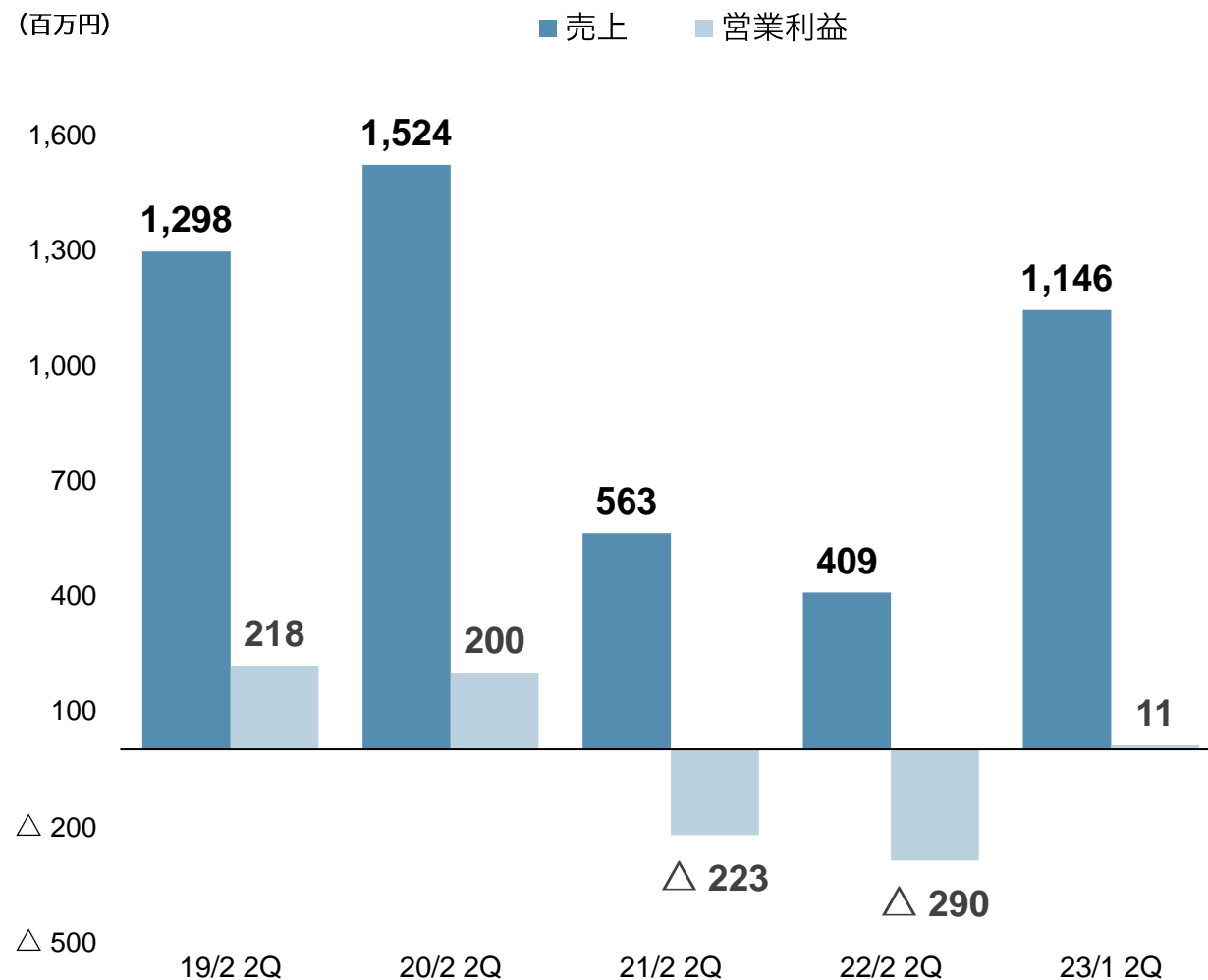


地域別・店舗別に特徴はあるものの、
事業Totalで黒字化へ

2021年7月からの継続事項として、「リアル・ハワイ」をテーマとしたリブランディングを始動。ハワイ州で3年連続1位獲得・殿堂入りしたプレミアムロコモコなどのWAIKIKI本店メニューを日本のAlohaTableでも忠実に再現、単価の見直しを含めた統一メニュー化、本場のALOHA精神の日本スタッフへの注入など総合的なブラッシュアップを図る。



ダイニング事業

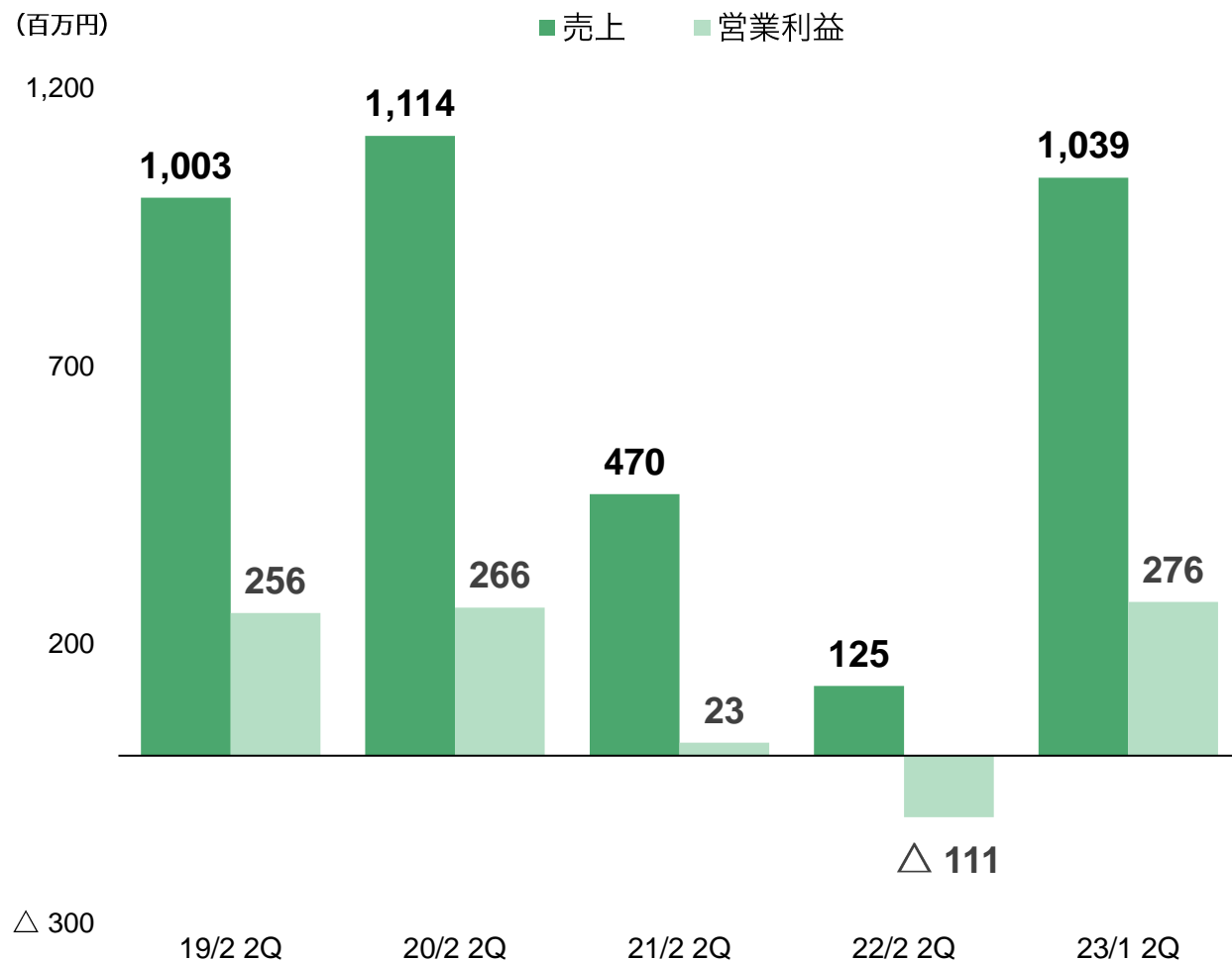


事業Total 75.2%で着地 (2020年2月比)

- ・人流が戻ってきているエリアに経営資源を集中させる
- ・コロナ禍を経て、お客様層の変化（若年化）、お客様単価の上昇等、業績向上に繋がる店舗がある一方、一部のビジネス街に位置する店舗は、人流が未だに戻らず集客に苦戦



アウトドア事業

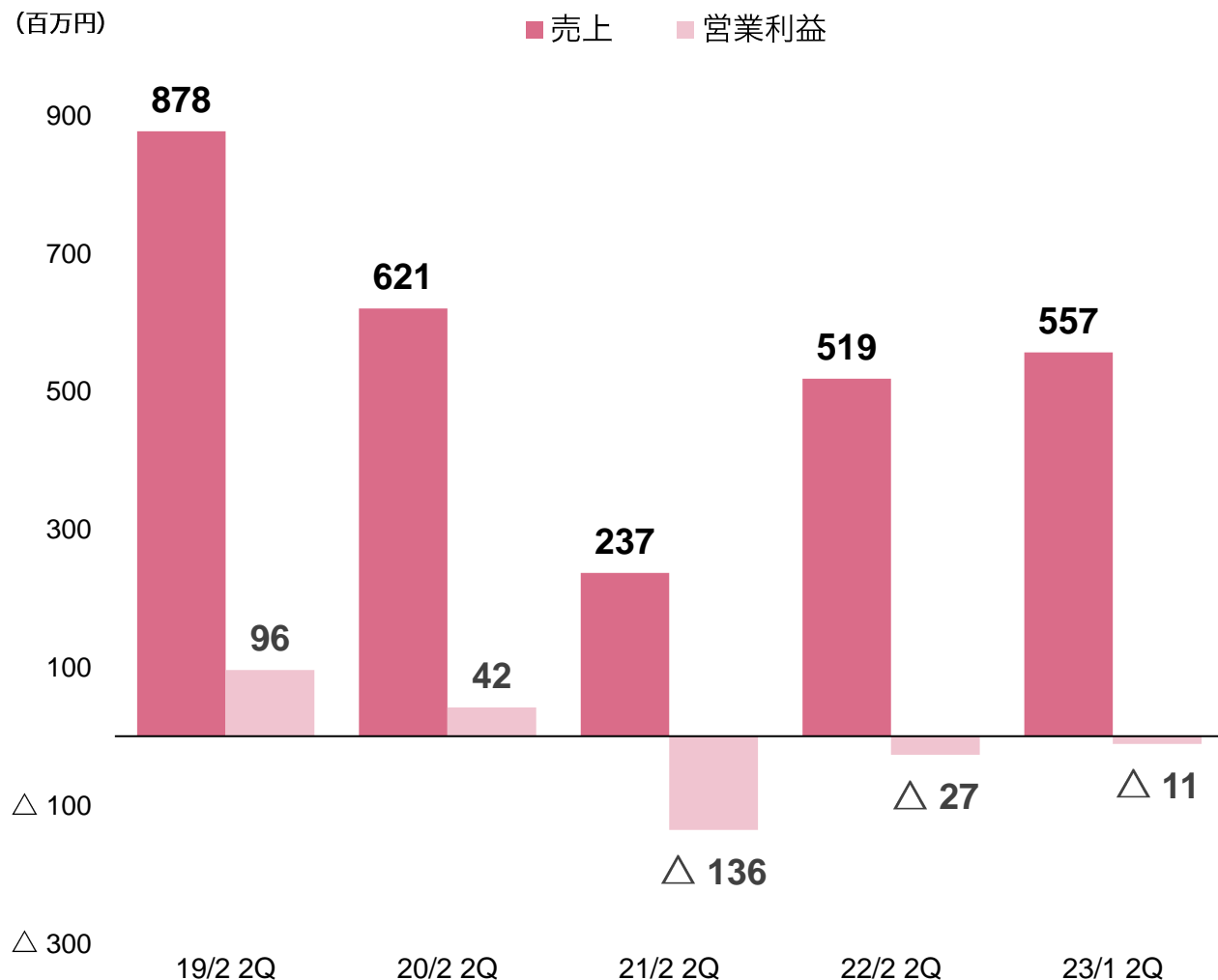


全事業を牽引、店舗によっては、コロナ前を上回る業績をマーク

- ・ コロナ禍で営業出来なかった店舗において、商品や空間、プライシングの見直しを図り、早期にオープンすることで好調な業績をマーク
- ・ 2022年4月に環境保全を意識した持続可能なバーベキュー場「かさい海浜公園 なぎさBBQ」をオープン



ブライダル事業

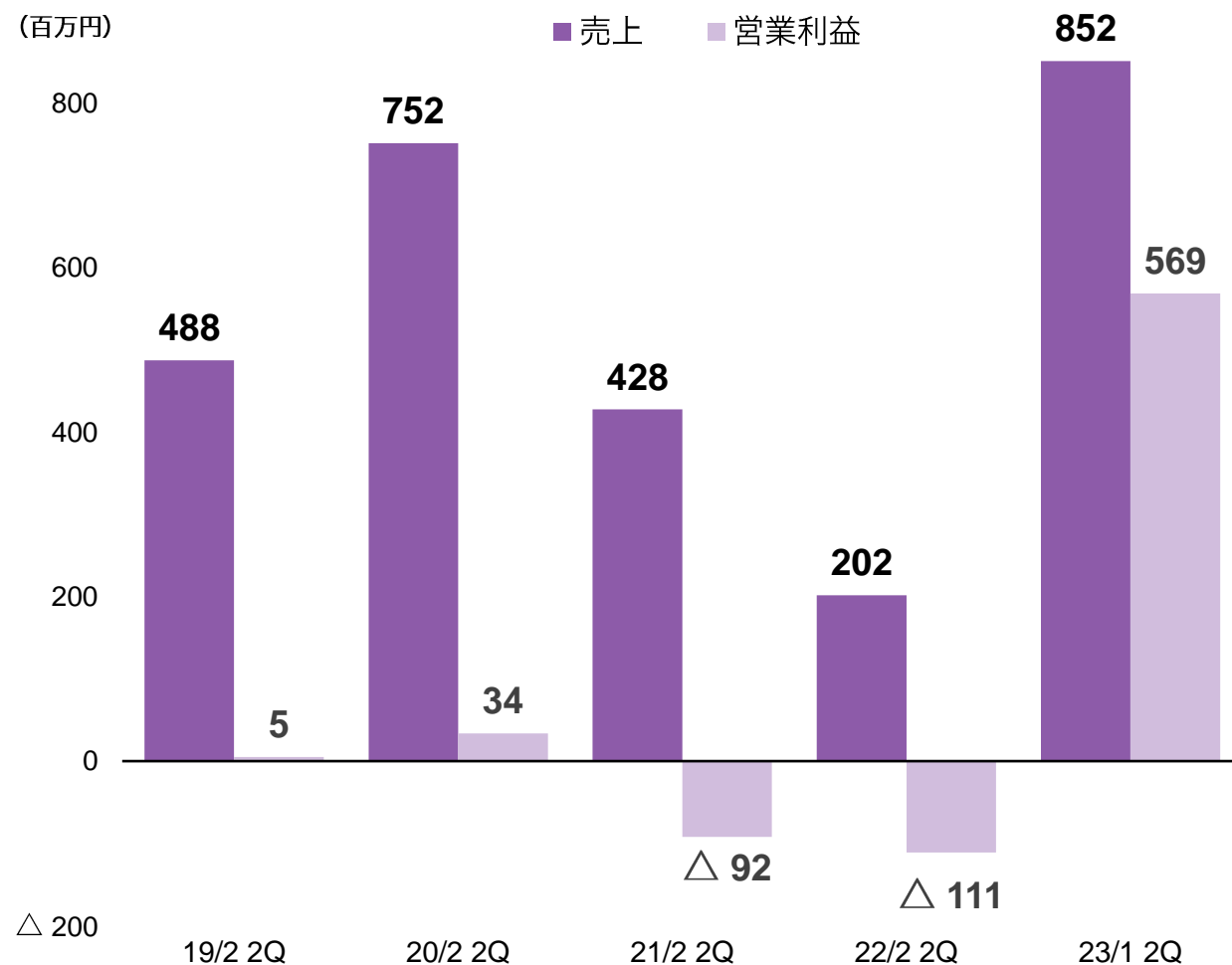


「徳川園」 Park-PFI制度を背景に 大幅リニューアル

- ・ 2022年7月に「徳川園」リニューアルを実施。新規事業もスタートさせる
- ・ 2020年3月に事業取得を実施した「尾上別荘」が巡航稼働へ



インターナショナル事業



米国経済の活性化を背景に好調な業績をマーク
更なる事業規模拡大に向け準備中

- ・ 米国国内の観光客増加に連動して既存店舗は好調に推移
- ・ 業態変更を行った「natuRe waikiki」、「Aloha Steak House」の移転拡張や、更なる新業態の開発と出店準備を進める

2022年7月：CAMADO Ramen Tavern

2022年8月：The Seaside -seafood・raw bar・wine-



公園再生プロジェクト「徳川園」 事業拡張



名古屋市より運営委託されている都市公園 「徳川園」内にて運営しているレストラン・ カフェ・園地等のリニューアルを実施

愛知県名古屋市にある徳川園が2022年4月より都市公園「徳川園」がPark-PFI制度を活用した管理運営に切り替わることに伴い、当社はコンソーシアムグループ「徳川の杜グループ」の一員として、公園施設への投資と整備にも携わることとなり、2022年7月にリニューアルオープンいたしました。

運営による事業収益を、文化財の補修や点検、庭園整備などにも還元し、「徳川園」全体の魅力を高めます。更に、売店の運営と多目的室「葵の間」の新設・運営も当社にて新たに行い、より魅力的な売店づくりと地域の方々の集いを創り出すことを目指していきます。

ブライダル会場となる「ガーデンホール」もフルリニューアルし、従来運営しています「ガーデンレストラン徳川園」「蘇山荘」も歴史を重ねた趣を維持した機能向上の改装を行い、未来に残すべき資産として運営を行ってまいります。

■ 「徳川の杜グループ」構成法人

- 公益財団法人 名古屋市みどりの協会
- 株式会社ゼットン
- 岩間造園株式会社



公園再生プロジェクト「葛西海浜公園 なぎさBBQ」



「葛西海浜公園 なぎさBBQ」始動

東京 葛西海浜公園にて2022年4月よりBBQ事業を拡張させます。

葛西臨海公園と1本の橋で繋がり、干潟を保護・再生するために作られた東西二つのなぎさのある葛西海浜公園。

ゼットンはその自然豊かな公園の環境を整備すること、隣接する葛西臨海公園と連携することにより、来園者の利便性を高め、葛西地域の更なる憩いの場となるような公園作りを推進していきます。

その第一歩である「なぎさBBQ」は、海辺の公園という特性を活かしながら安全安心な運営を心掛け、サステナブル・シーフードを使用したメニューの提供・不要な椰子の実の殻を炭にしたエコ燃料を使用するなど、環境保全を意識した持続可能なバーベキュー場の管理運営に取り組みます。



公園開発プロジェクトの拡大

「山下公園レストハウス」



山下公園レストハウスのPark-PFI（公募設置管理制度）による公募において、当社が代表法人を務めるプロジェクトグループが、設置等予定者として決定

歴史や風景など山下公園が本来的に持っている素材を活かし、山下公園の他エリアとの魅力を一体化させ、周辺観光地をつなぐハブとしての「重要な結節点」として新たな役割であると捉えております。事業開始時期においては精査中。

公園のあるべき姿とは、すべての人に豊かな時間を過ごしていただく場所であると考えており、無料休憩スペースの確保や横浜名物の販売店の設置なども検討。

■ プロジェクトグループ

- 山下公園再生プロジェクトグループ

■ 代表法人

- 株式会社ゼットン

■ 構成法人

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| - 株式会社ファンケル | - サカタのタネ |
| - 横浜エフエム放送株式会社 | - グリーンサービス株式会社 |
| - 三菱地所株式会社 | - 株式会社 t v k コミュニケーションズ |
| - 株式会社ケーエムシーコーポレーション | - 株式会社ありあけ |



海外事業 ZETTON,INC.更なる事業規模拡大へ



米国ハワイ州での連結子会社 「ZETTON,INC.」 業績好調を背景に更なる規模拡大へ

経済活動の活発化を背景に、既存店舗は好調に推移しております。

また、更なる事業規模拡大に向けて、2021年11月の業態変更を行ったアイランドフレンチの新店「natuRe waikiki」のオープンをはじめ、2022年4月には、人気店舗「Aloha Steak House」の移転拡張を実施。現在も新業態の開発と出店準備を進めております。

ハワイの観光地の一角が「ゼットンストリート」としてお客様から馴染まれるなど、注目と期待を集めており、今後も海外での街づくりを推進していきます。

■ 今後のスケジュール

- 2022年7月 CAMADO Ramen Tavern
- 2022年8月 The Seaside -seafood・raw bar・wine-

